

令和5年度 福祉コミュニティセンターの管理運営に対する評価表

所管課:健康福祉部福祉政策課

評価対象期間:令和5年4月1日～令和6年3月31日

評価委員会開催日:令和6年11月1日

1.指定管理者

指 定 管 理 者	国際ライフパートナー株式会社
指 定 期 間	平成31年4月1日～平成36年3月31日(5年間)
施 設 概 要	福祉施設としての場所の提供、情報の発信地、施設の特性を活かした福祉事業の展開などを通じて、高齢者、障がい者、児童等の社会参加を促進するとともに、ボランティア活動の育成を図ることを目的とする。
指 定 管 理 料	9,396千円 (5年間 46,980千円)

2.管理運営の主な内容

項 目	令和5年 度 の 状 況
運 営 状 況	○福祉施設としての場所の提供 ・施設利用者に対する平等で均一なサービスを心がけるとともに、利用者団体との意見交換を心がけ業務を実施 ○自主事業の展開 ・高齢者陶芸教室研修会は、新型コロナウイルス対応として中止 ・年間を通じての陶芸教室や、定期的なおはなし広場や小物作り教室の開催 - その他、押し花教室や、季節に応じた工作サマースクール、おもちゃクリスマス等の事業を実施 ○施設の情報提供 ・市の担当部署の協力のうえ、広報を活用してコミセンの活動を掲載 ・ホームページにおいて、「現地スタッフ自らが、リアルタイムな情報の更新」を継続 ○人権問題の取組み ・基本的人権等の研修を実施し、正しい認識を持って業務を遂行できるように人権啓発の指導を実施 ・市が主催する人権研修があれば積極的に参加するなど、行政における人権の視点について学び、改めて公の施設を管理する者としての意識醸成を推進 ○安全確保対策 ・災害時対策本部を設置。本社代表取締役が本部長を兼任し、災害時等においては、本社担当者もしくは本部長が駆けつけ指揮をとる体制を確立 ・当該施設における「危機管理及び防災マニュアル」を作成し、危機管理及び防災体制を推進
維 持 管 理 状 況	○保守点検 ・本社ビルメンテナンス課の職員において定期的な巡回点検を行い、設備不具合の場合には可能な限り自身にて調査を実施 ・駐車場ライン引き工事 ・給湯器取替取替工事 ・高圧洗浄通管工事 ・ふれあいルームカーテン取替工事 ○備品の管理 ・備品管理台帳をもとに管理 ○清掃業務 ・日常清掃(週5日)、定期清掃(月1回)、特別清掃(年2回)を実施 ○警備業務 ・大阪ガスセキュリティサービス(株)に夜間の機械警備業務を委託 ○環境保全への取組み ・環境負荷実態把握調査の実施

利 用 状 況	・令和4年度の利用団体数、1,530件に対して、令和5年度は1,132件と約26%減少 ・令和4年度の利用人数、12,028人に対して、令和5年度は10,834人と約10%減少
収支状況	・令和5年度の支出は、9,412,309円に対して、令和4年度は9,514,880円とほぼ変わらず ・市の支出としては、増額なし 令和4年度 9,396(千円) 令和5年度 9,396(千円)

3.利用者へのアンケート調査

項目	5年 度 の 状 況
調査の実施内容	対 象 : 全施設利用団体 調査期間 : 令和5年10月1日 ~ 10月26日 調査方法 : 各団体にアンケート用紙を手渡し 回答件数 : 利用団体45団体のうち44団体 回 収 率 : 約93.8% (※前年度の回収率は約88.5%)
調査の結果	職員の対応について総合的な感想 ・職員の対応については「満足」177件、「普通」64件、「不満」0件、「未記入」が3件、と「満足」及び「普通」の回答比率が約98.7%であり、ほぼすべての方に満足を獲得
主な要望・意見等	・すべてのトイレを洋式化してほしい。(3件) ・Wi-Fiを使えるようにしてほしい。(1件) ・エレベーターを設置してほしい。(2件)

4.施設の評価

管理運営の総合評価	○5	○4	●3	○2	○1
講 評	・カラコロ体操の講座を増設するなど、参加希望者になるべく参加できるよう対応しており、評価できる。 ・情勢の影響や施設利用者増加のため、単年度だけの数字ではなく、複数年度にわたる実績管理を行い、経年変化をもとに事業分析を行っていくことが効果的である。 ・利用者アンケートの回答に対して、対応実施したものについては具体的に記載してもよい。また、他の回答については、実施できない理由や指定管理者の見解・方針など、利用者にフィードバックをすることが、よりよい運営につながる。 ・アンケートの質問項目に、「ホームページを見て」等というような、ホームページからの利用状況も把握しておくことが望まれる。 以上により、総合得点の平均3.03から判断すると、総合評価「3」という評価ができる。				